

「開発途上国でスパイラルアップ実践力強化留学」参加学生の声

持続性社会創生科学研究科 農学専攻 修士2年

こんにちは。私は JASSO 海外留学支援制度協定派遣プログラム(2022 年度採択)で、ウガンダのマケレレ大学に来ています。私は現在大学院の修士2年生で本来なら就職活動をして卒業に向けて修論を執筆しているはずですが、どうしても留学して海外でしか出来ない体験や新しい出会いをしてみたいと思い留学することに決めました。

アフリカに来て驚いたのが、時間に対する感覚の違いです。授業が予定通りに始まらなかったり、集合時間と全く違う時間に集まったりと日本では考えられないことばかりで、毎日が新鮮でとても楽しいです。

こちらでは、マケレレ大学の語学学校に通いながら大学院の農学の授業を受けており、今後はウガンダの有機肥料を用いた作物の生育や収量に関する研究も行う予定です。語学学校では School trip を通してクラスの人たちと交友を深めています。農学部の授業では、日本の現状についてよく聞かれ、答えるのに苦戦していますが、日本とは違う現地の農業事情について学べるのでとても楽しいです。授業のない休日に、友人に街を案内してもらったり、寮の住人たちと一緒にサッカーの試合を観戦することも楽しい時間です。

ウガンダに来てみて、留学前に日本で考えていたより、もっと色々なことにチャレンジしてみたいと思うようになりました。なので、少しでも留学を考えている人は、国際交流課の方に相談してみると自分の可能性が広がると思います。

